

「トップアスリートにおけるコンディショニングの最前線」

杉 田 正 明

三重大学教育学部保健体育科教授

(公財)日本オリンピック委員会や(公財)日本陸上競技連盟の科学スタッフの一員として、オリンピックや世界選手権代表選手の強化支援に関わる医・科学サポート活動を20年以上にわたって実施してきており、スポーツ界の国際競技力向上に関する支援活動に携わってきた。

最近では、2010 FIFAワールドカップでは、40日間日本代表チームに帯同し、高地対策やコンディション管理を支援し、ロンドンオリンピック、モスクワ世界陸上では女子マラソン代表選手をはじめ多くの選手の科学的支援を行った。

現在はリオデジャネイロオリンピックに向けた活動を展開中である。

本講演では、コンディショニングに焦点をあて、実際に取り組んでいるその一部を紹介させていただく予定である。